

事業所における 自己評価結果（公表）

公表：令和 5 年 12 月 1 日

事業所名 コペルプラス 日本大通り教室

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|---------|---|--|----|-----|---|--|
| 環境・体制整備 | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 8 | | 粗大運動時、お怪我がなく十分に活動が出来るよう配慮している。 | |
| | ② | 職員の配置数は適切である | 8 | | 1 人の職員が 1 か月の中で同じ曜日に休みが重ならないように工夫している。業務や負担が偏らない様相談をしている。 | |
| | ③ | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている | 6 | 2 | 「靴の履き方」「手洗いの仕方」等お子さんにわかりやすいようにポスターで掲示している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ビルのエントランスに数段階がありベビーカー、車椅子が通りづらい ・建物の入り口に 2 段階ほど階段がありベビーカーが使いづらい。 ・教室の入っている建物の入り口に階段がありベビーカー、車いすの方は不自由 上記の件について別途対策を講ずる。 |
| | ④ | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている | 7 | 1 | 窓を開けて換気をし、療育終了後は次亜塩素酸で丁寧に清掃している。 | エアコンがない部屋について夏場熱中症が懸念されるので、本部へサーキュレーター等の購入を依頼する。 |
| 業務 | ⑤ | 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している | 8 | | 日々のミーティングやカンファレンスで周知している。 | |

| | | | | | | |
|----------|---|--|---|--|--|-------------------------------------|
| 改善 | ⑥ | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 8 | | 評価表により保護者様のご意向を把握し職員全員で話し合う機会を設けている。 | |
| | ⑦ | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 8 | | LINE とブログ、通所時のお手紙配布で周知している。結果に評価、改善内用をブログで公開している。 | |
| | ⑧ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | 8 | | | 評価結果を業務改善につなげているか第三者により外部評価制度はまだ未定。 |
| | ⑨ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 8 | | 定期的に社内研修に参加している。個々で外部研修にも参加している。 | |
| 適切な支援の提供 | ⑩ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している | 8 | | 支援計画変更時期だけでなく日々の療育でも支援計画に沿っているか確認している。 | |
| | ⑪ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 8 | | 標準化されたアセスメントツールがある。 | |
| | ⑫ | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | 8 | | 保護者様のお話を傾聴し、ご家庭での関わり方等をご提案している。必要に応じて地域支援をご紹介している。 | |
| | ⑬ | 児童発達支援計画に沿った支援が行われている | 8 | | 療育前に支援計画を確認しお子さ | |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|------------------------------------|------------------------------------|
| | | | | | んに合ったプログラムか確認している。 | |
| | ⑭ | 活動プログラムの立案をチームで行っている | 7 | | プログラムは本部が作成している。 | |
| | ⑮ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 8 | | 毎回異なる教材や補強プリントを使用している。 | 週に何度も通所するお子さんが楽しめるようにプログラムを精査している。 |
| | ⑯ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している | 8 | | 状況に応じ集団活動での関わりの場を設けている。 | |
| | ⑰ | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 7 | 1 | 毎日ミーティングで確認する機会を設けている。 | |
| | ⑱ | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | 8 | | 当日の振り返り、保護者様からの要望や連絡を共有し、引継ぎをしている。 | |
| | ⑲ | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 8 | | 気付いた事やその日の様子を記録で残している。 | |
| | ⑳ | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している | 8 | | 適宜モニタリングを行っている。 | |
| 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 関 係 | ㉑ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 8 | | サービス担当者会議へは児発管と担当指導員が出席した。 | |
| | ㉒ | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている | 7 | 1 | 区役所児童部会に毎回参加している。 | |
| | ㉓ | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている | 6 | 1 | 医療的ケアについて保護者様から情報を聞き支援を行っている。 | 保護者様から希望があればいつでも連携できる体制を取っている。 |

| | | | | | | |
|--|----|---|---|---|-----------------------|---------------------------------|
| 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 | ②④ | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている | 5 | 1 | 緊急連絡先や療育上の留意点を伺っている。 | 現状にいないはずですが必要であればすぐに整えられる |
| | ②⑤ | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | 7 | 1 | 必要なお子さんに 対して行っている。 | |
| | ②⑥ | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | 7 | 1 | | |
| | ②⑦ | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | 8 | | | 今年度は事業所連絡会の運営に参加し各専門機関と連携をしました。 |
| | ②⑧ | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある | 4 | 3 | | 事業所内ではなし |

| | | | | | | |
|--|----|--|---|---|--|-------------|
| | ②⑨ | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している | 8 | | | |
| | ③⑩ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 8 | | | |
| | ③⑪ | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている | 6 | 2 | | 年に数回必ず行っている |
| 保 護 者 へ の 説 明 責 任 等 | ③⑫ | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 8 | | | |
| | ③⑬ | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている | 8 | | | |
| | ③⑭ | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 8 | | | |
| | ③⑮ | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | 8 | | | |

| | | | | | | |
|---------|----|--|---|---|--------------------------|----------------------|
| | ③⑥ | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している | 7 | 1 | | |
| | ③⑦ | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 7 | 1 | | ブログで配信している。 |
| | ③⑧ | 個人情報の取扱いに十分注意している | 8 | | | |
| | ③⑨ | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 8 | | | |
| | ④⑩ | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | 2 | 5 | | ・招待する行事はない ・分からない |
| 非常時等の対応 | ④① | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している | 8 | | | |
| | ④② | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 8 | | | |
| | ④③ | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している | 8 | | ・その子によるが保護者同伴の為保護者に聞いている | |
| | ④④ | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 7 | 1 | | 粘土など素材に配慮している |
| | ④⑤ | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 8 | | 全員共有出来ている。 | |
| | ④⑥ | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 8 | | | |
| | ④⑦ | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している | 8 | | | |

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。